

観光客実態調査 (H30 年 4 期) 速報

〈今回公表する調査結果〉

- ・平成 30 年 4 期速報結果 (抜粋)

〈目的〉

- ・伊勢市を訪れる観光客の旅行目的、来訪手段、滞在種別 (日帰り・宿泊)、立寄り箇所数、消費額、満足度など行動実態に関する調査を実施し、その特性、傾向等を分析することにより本市の観光の実態を明らかにし、本市の観光施策の効果的な推進を図る。

〈調査日〉

平成 30 年 4 期 : 平成 30 年 12 月 8 日 (土)

〈調査方法〉

- ・本市内の調査地点を訪れた観光客を対象に、調査員による「対面聞き取り調査」を行った。

〈調査地点〉

- ・外宮周辺 (外宮前広場) ・内宮周辺 (おかげ横丁)
- ・二見 (二見浦公園駐車場) ・河崎 (河崎商人館周辺)

〈調査対象〉

- ・調査地点を訪れた観光客を対象とする (市民を除外しない)。
- ・外国人観光客は対象としない。

〈回収数〉

平成 30 年 4 期 : 330 サンプル (うち市民 10 サンプル)

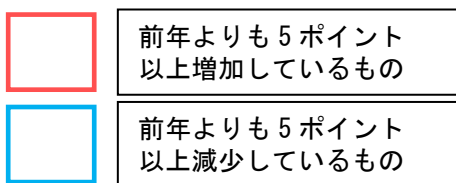
【参考】(平成 29 年) 1 期 (3 月)	: 359 サンプル (うち市民 6 サンプル)
2 期 (7 月・8 月)	: 646 サンプル (うち市民 23 サンプル)
3 期 (11 月)	: 383 サンプル (うち市民 12 サンプル)
4 期 (12 月)	: 341 サンプル (うち市民 14 サンプル)
(平成 30 年) 1 期 (3 月)	: 366 サンプル (うち市民 10 サンプル)
2 期 (7 月・8 月)	: 669 サンプル (うち市民 33 サンプル)
3 期 (10 月)	: 388 サンプル (うち市民 18 サンプル)

〈留意事項〉

- ・本資料は、平成 30 年伊勢市観光客実態調査 4 期の速報値を用いて作成した。
- ・端数調整により、割合の合計が 100% とならない場合がある。

●平成 30 年伊勢市観光客実態調査（4期）速報結果

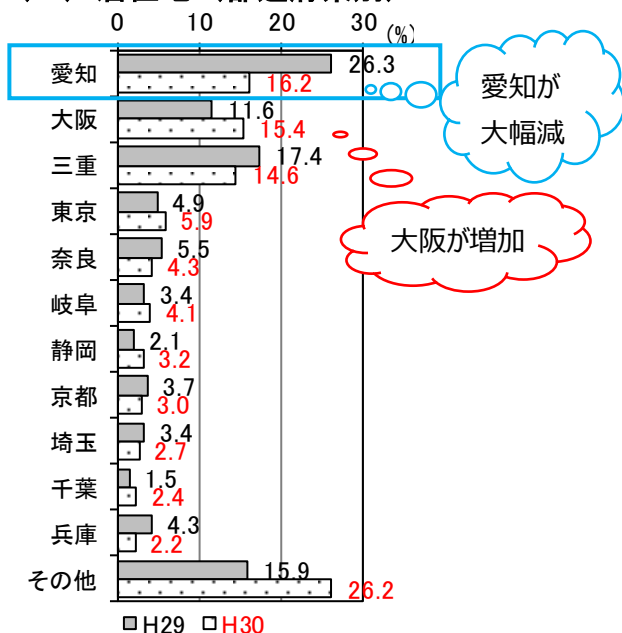
※調査自体は市民を含んで実施していますが、下記のグラフからは市民を除いています。



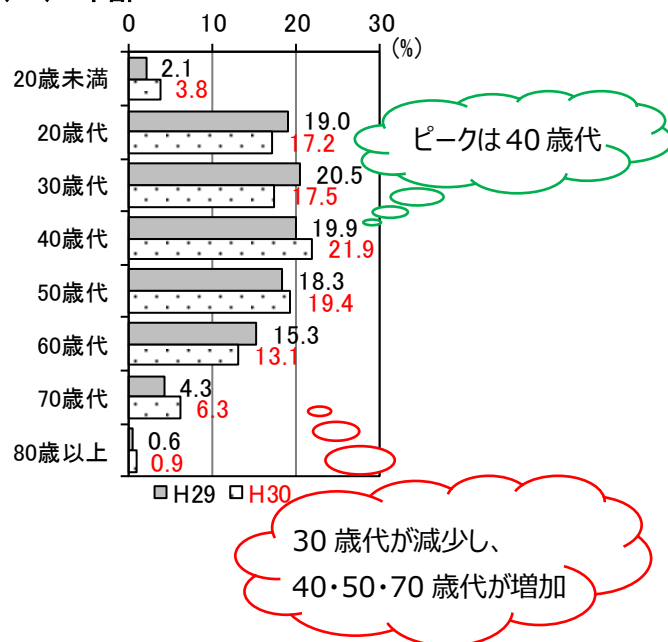
1. 観光客の属性

～ 県内、愛知・大阪からが多い／40歳代が多い／4時間以上5時間未満が多い～

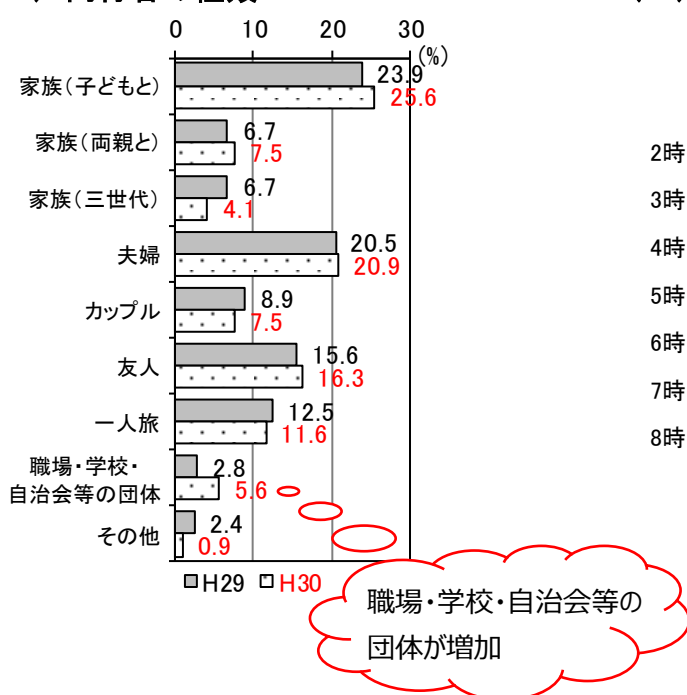
(1) 居住地（都道府県別）



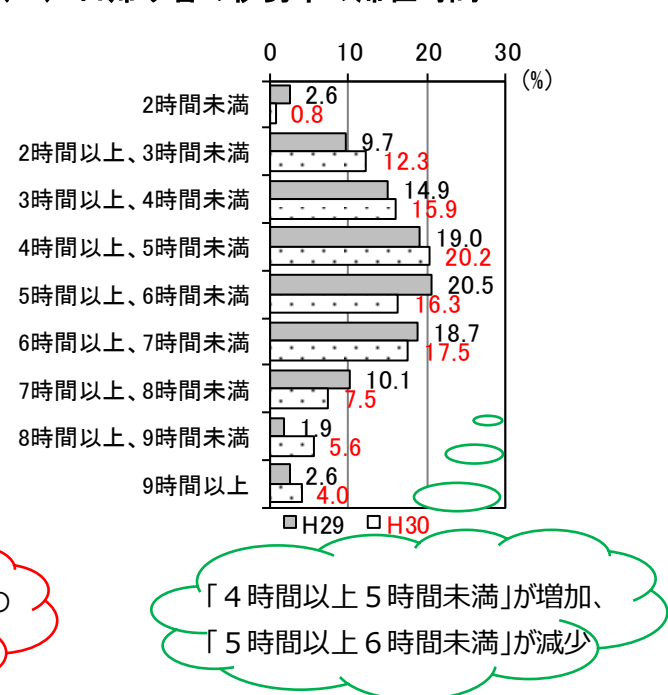
(2) 年齢



(3) 同行者の種類



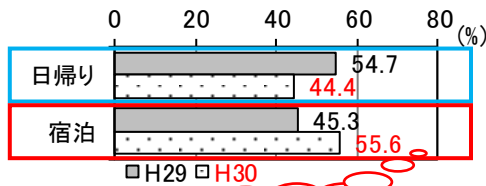
(4) 日帰り客の伊勢市の滞在時間



2. 旅行行程

～宿泊（市外泊含む）の割合が増加／自家用車・バイク利用が多い～

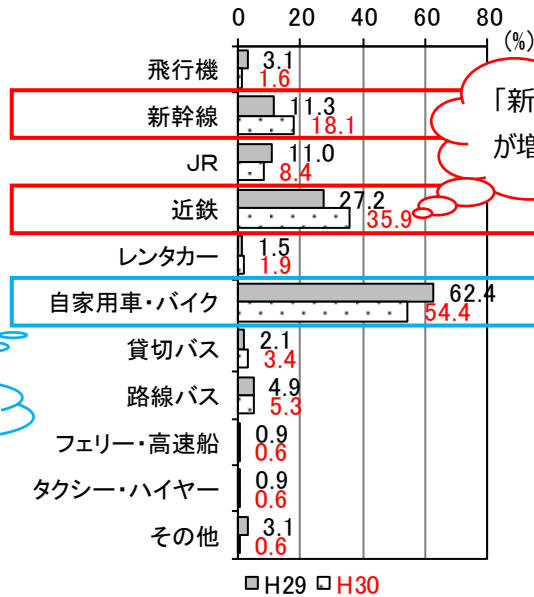
(1) 宿泊の有無



「宿泊」が増加

「自家用車・バイク」が減少

(2) 利用交通機関

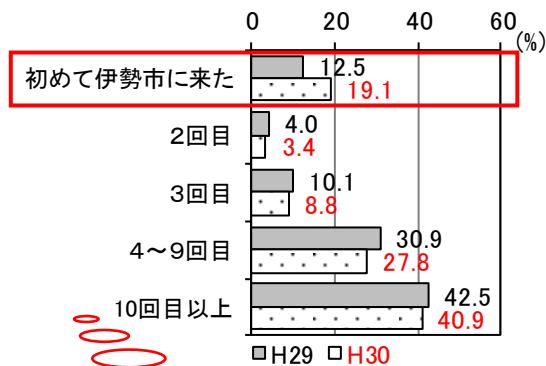


「新幹線」「近鉄」が増加

3. 伊勢市を選んだ理由

～リピーター多いが、初めても増加／以前来て良かった～

(1) 訪問回数

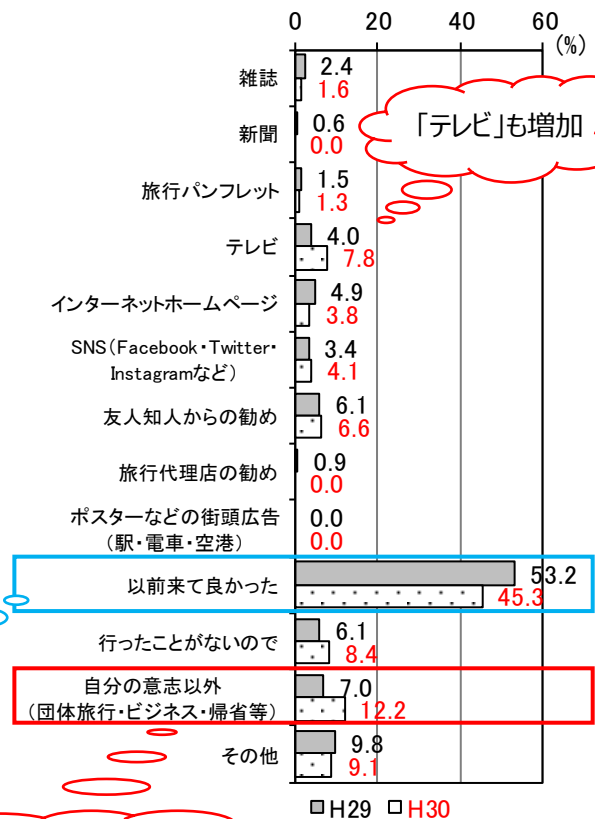


「初めて」の訪問が増加

「以前来て良かった」が減少
(3期に続いて減少)

「自分の意志以外」が増加

(2) 伊勢市を選んだきっかけ

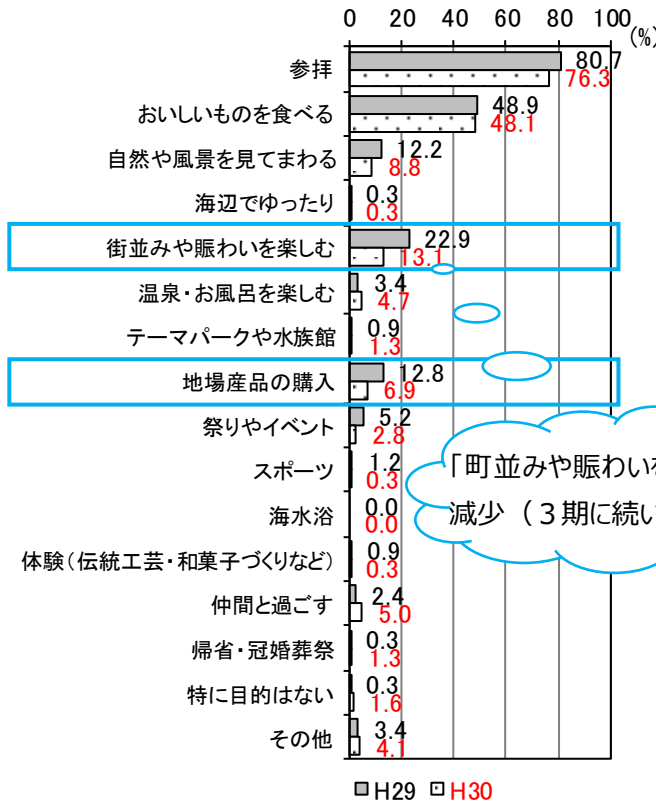


「テレビ」も増加

4. 観光目的地

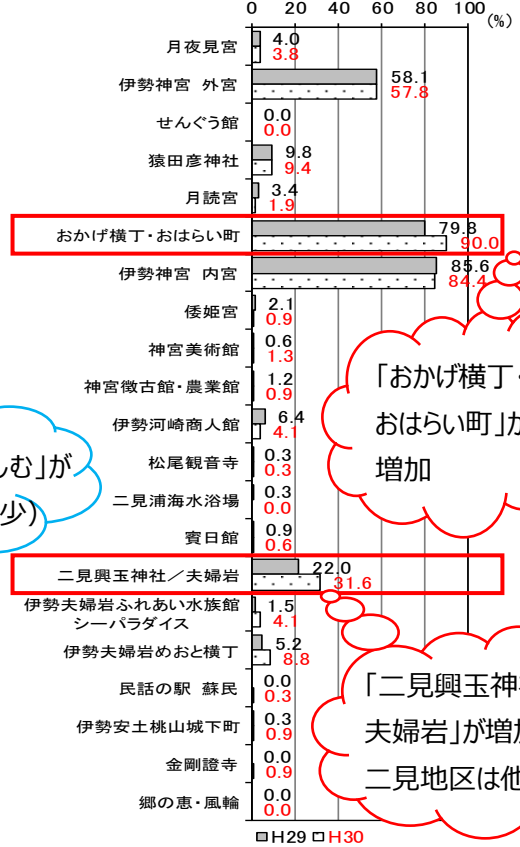
～ 目的は参拝（神宮・興玉神社等）と「食」／目的地は内宮とその周辺が多い ～

(1) 旅行目的



「町並みや賑わいを楽しむ」が減少（3期に続いて減少）

(2) 立ち寄り観光地（予定含む）

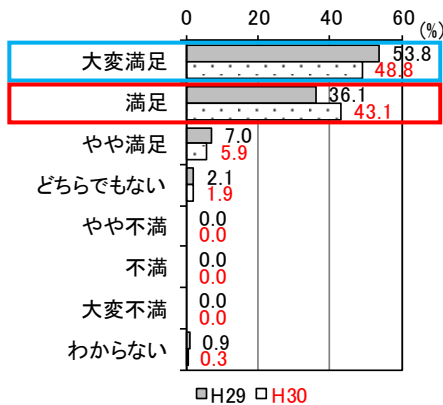


「おかげ横丁・おはらい町」が増加

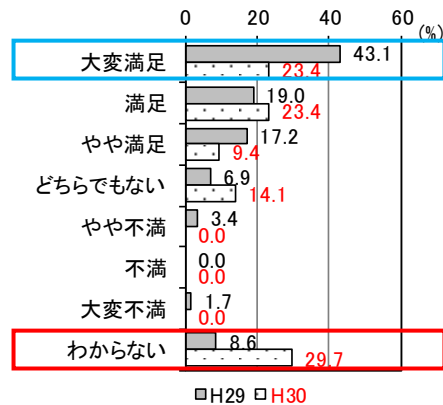
「二見興玉神社／夫婦岩」が増加
二見地区は他も増

5. 本市観光の満足度 ～ 「大変満足」の割合が低下／総合満足度が低下 ～

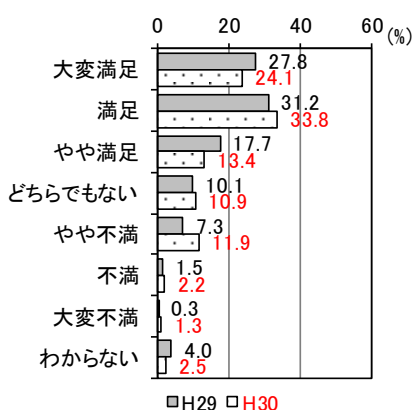
(1) 景観・雰囲気



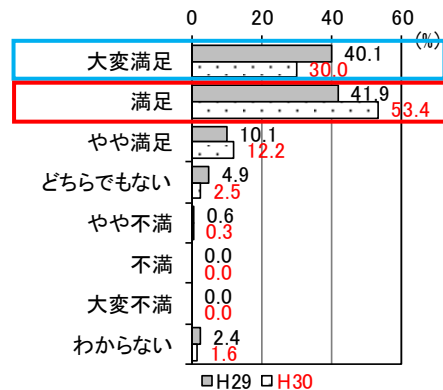
(2) 宿泊施設



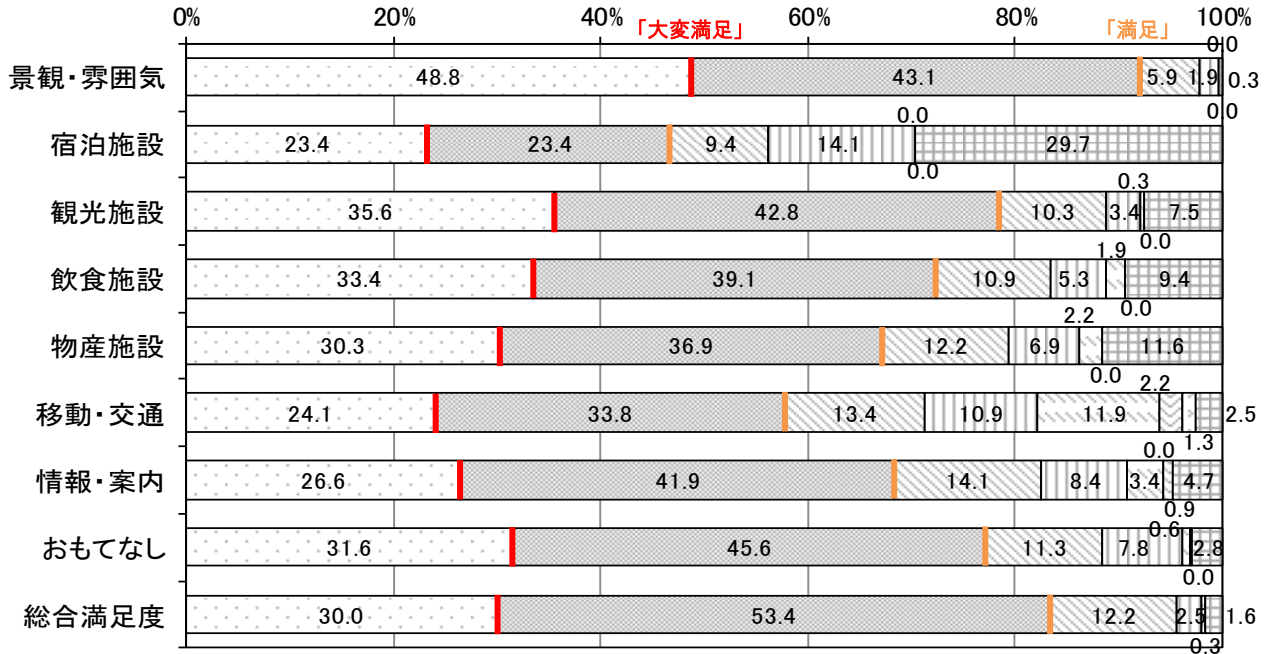
(3) 移動・交通



(4) 総合満足度

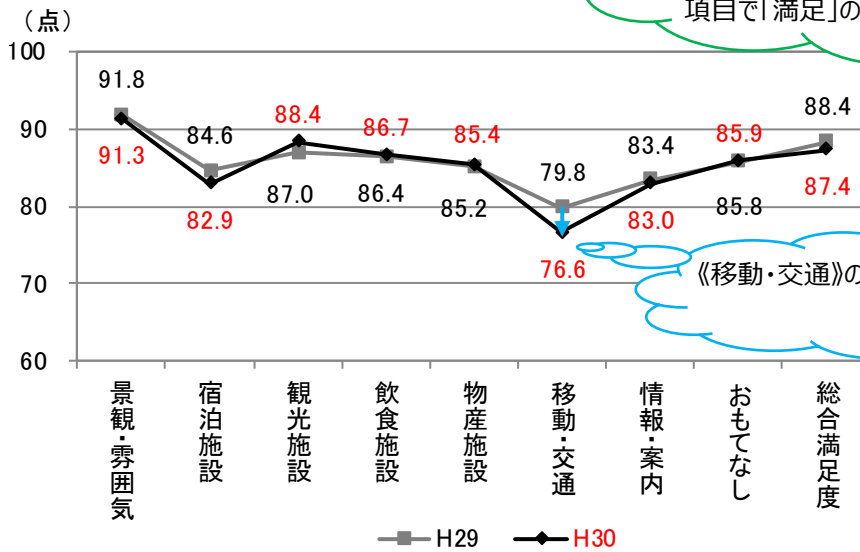


(4) 各項目の満足度の比較（構成比）（平成 30 年）



□大変満足 □満足 □やや満足 □どちらでもない □やや不満 □不満 □大変不満 □わからない

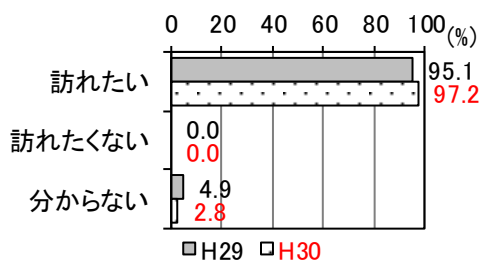
(5) 各項目の満足度の比較（点数）



「大変満足」の割合が減り
「満足」の割合が増大している
《景観・雰囲気》と《宿泊施設》以外の
項目で「満足」の割合が最も高い

《移動・交通》の下げ幅が
最も大きい。

(6) 伊勢市の再訪意向



今期は、満足度で気がかりな傾向が見られました。

全ての項目で、「大変満足」の占める割合が低下しています。昨年同期は9項目中7項目で「大変満足」が最も高かったのですが、今期は《景観・雰囲気》と《宿泊施設》以外の7項目で「大変満足」ではなく「満足」が最も高い結果となりました。

最も下げ幅の大きかった《宿泊施設》の満足度は、1期（3月）、2期（7・8月）、3期（10月）でも下がっており、年間を通して前年よりも低下しています。